『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』を読んだことのある20代～50代の男女60名
調査期間	2025年12月2日～2025年12月4日 2025年12月11日 2025年12月18日 2025年12月25日 2026年1月1日 2026年1月9日 2026年1月15日 2026年1月22日 2026年1月29日 2026年2月5日 2026年2月12日 2026年2月19日 2026年2月26日 2026年3月5日 2026年3月12日 2026年3月19日 2026年3月26日 2026年4月2日 2026年4月9日 2026年4月16日 2026年4月23日 2026年4月30日 2026年5月7日 2026年5月14日 2026年5月21日 2026年5月28日 2026年6月4日 2026年6月11日 2026年6月18日 2026年6月25日 2026年7月2日 2026年7月9日 2026年7月16日 2026年7月23日 2026年7月30日 2026年8月6日

	2026年8月13日 2026年8月20日 2026年8月27日 2026年9月3日 2026年9月10日 2026年9月17日 2026年9月24日 2026年10月1日 2026年10月8日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス・ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/narusesyatyouhamendoumigayosugiru/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	0人
30代女性	1人
40代男性	9人
40代女性	0人
50代男性	48人
50代女性	0人

Q2：『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』の感想を教えて下さい。

成瀬社長は面倒見が良すぎる。1巻～5巻	成瀬がやってくれました。これだけビシっと言ってくれると気持ちいいですね。愛理なら簡単に言いくるめられると思っていただけに、瑛太もさぞかし驚いたことでしょう。不貞行為に対する慰謝料だけでなく、モラハラにも触れられた時の瑛太の焦りようが痛快すぎました。気がかりなのは愛理の職場です。職場では、瑛太が家出をしているという噂がすでに広まっていました。愛理がそういった噂を流していない以上、瑛太が情報を流していることは間違いありません。今後もこのような噂が広まれば、愛理にとって居づらい職場環境になるのではないかと不安に感じました。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。	社内恋愛で結婚した愛理が、新婚なのに夫とのレスに悩んでいるの、突然ブチ切れた夫からの離婚話の切り出しと浮気相手がいることを告白され、パニックになりながらも会社には行き、夫のた

1巻～5巻	めに通うことにした料理教室で、キレッキレの成瀬社長と出会うところに希望が持てました。講師ではないのに、初対面とは思えないスパスタ指導を受けた挙げ句、帰り道に憂鬱で泣いてしまった愛理に対し、夫にはちゃんと慰謝料を請求するように、弁護士まで手配する仕事の早さと面倒見のよさに、すでにときめきそうになりました。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。1巻～5巻	結婚一年目だというのに夫の瑛太が不倫していたなんて事実を聞かされた愛理の姿が本当にかわいそうでした。愛理は別に何も悪いことなどしていないのにあまりに酷い仕打ちです。しかし、そんな状況を好転させる出会いが起きるのでそこも面白いですね。料理教室で成瀬というイケメンと出会い関係が進展していく流れがとても物語をワクワクさせます。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。1巻～5巻	成瀬はかなり優秀な敏腕社長なのですが、作中で見せる何気なく醸し出すオーラが彼の魅力をさらに何倍にも高めています。随所で見せる仕草に余裕があり、こんな社長なかなかいないだろうなという趣を実感できること間違いなしです。そんな成瀬と偶然出会うことができた愛理はかなりの強運の持ち主であることは間違いありません。2人の何気ないやりとりが後の展開を暗示しています。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。6巻～10巻	瑛太に対する苛立ちが増しました。不倫するだけでなく、こんな小細工までしてくるとは。愛理には頑張ってもらい、完膚なきまでに叩きのめして欲しいです。気になったのは愛理の転職です。ここで退職すると、噂に負けたという感じがしないでもありません。しかしここは成瀬の言葉に甘えた方がいいように思います。一度広まった噂の火消しなんて大変ですし、そこまでしてしがみつく会社でもないでしょう。愛理がどのような決断を下すのか注目したいです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。6巻～10巻	夫が不倫していたという悩みを成瀬に相談した愛理が彼の助言を実行へと移す場面がとにかく面白かったですね。勇気を振り絞って「弁護士と話してほしい」と宣言する愛理の躍動感にはかなりの気迫が感じられました。瑛太が何も言い返せずにまごついていた姿の爽快感たるやかなり滑稽でしたね。やはり成瀬の助言は間違いではなかったということでしょう。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。6巻～10巻	作中、成瀬さんの仕事がとにかく早いですね。愛理のために離婚調停申込書や慰謝料請求書などの素案をいとも簡単に用意してしまう姿にとてつもない格好良さがありましたね。こんなこと並みの人間では、できないことも成瀬には簡単にできてしまうわけですから、そこに彼の魅力が凝縮されていますね。愛理がその手早さに驚きを隠せない感じも面白いです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。11巻～15巻	愛理の覚醒っぷりにスカっとしました。結果だけを見れば、瑛太の思い通りになってしまったように思います。でもその経緯が重要なんですよね。愛理自身が決断し、そして課長相手にズバっと言う姿は爽快でした。気がかりなのはスーパーで知り合った男性、前園です。愛理が不倫しているという証拠を捏造する為、瑛太の差し向けた男性のような気がするんですよね。瑛太の差し金の可能性もあり、今後の動向に注目したいです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。11巻～15巻	ただの恋愛漫画じゃないです。夫に突然の不倫宣言されて絶望のどん底にいる愛理が、料理教室で出会った敏腕社長・成瀬さんに助けられる物語。 成瀬社長は、主人公の愛理に対してただ優しいだけでなく、耳の痛いこともハッキリ言う厳しさを持っています。 俺が面倒見てやるといった熱意ある面倒見と、社長としての的確な指導が込められた各セリフに、みんなが夢中になっているみたいですよ！ 愛理の自分を変えようと頑張る姿、成瀬社長の不器用さの中の優しさに、胸が熱くなること間違いなし！
成瀬社長は面倒見が良すぎる。11巻～15巻	とにかく成瀬社長が格好良すぎますね。愛理に優しく話しかけている何気ない横顔がめちゃくちゃ色気に満ちていてそそります。あと駅で2人で話している時の愛理との身長差にもかなりときめくこと間違いなしです。愛理がふと仕事中も成瀬社長のことを考え込んでしまう姿にも可愛らしさがあって2人を見ているうちに、かなりお似合いのカップルなのかもと思うようになること間違いなしです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。11巻～15巻	愛理と成瀬のやりとりが本当に聞いていて心地よいです。馬が合う感じで、これからの行動を色々と話し合うのですが、成瀬のアイデアに頷きながら「上手くできた」ということを嬉しそうに報告している愛理の表情が生き生きとしていて魅力的でしたね。やっぱりこの場面を見て2人の相性はかなりいいのだということを深く実感できましたね。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。	今回のことで、瑛太が離婚を望む気持ちが理解できたように感じます。少し抜けているところも愛理の魅力の一つですが、これから共に喜びや苦労を分かち合うパートナーとして考えると、どうで

16巻	しょうか。ハニートラップの件に関しても、本来なら当事者である愛理自身が気づくべきことです。思慮が足りないというか、もう少ししっかりしてほしいですね。気になるのは前園からの誘いです。以前の愛理なら、迷わずついていったでしょう。しかし、今の愛理は成瀬から厳しく言われています。前園についていくのか、それとも断るのか。どのような決断をするのか、とても興味深いです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。16巻	愛理がある男性と会おうとしていることを成瀬が咎める場面があるのですが、そこでの成瀬の観察眼が素晴らしいですね。「これはハニトラだ」ということをあっさりと見破って愛理に注意を促している姿にとてつもなくできる男感があってたまりません。愛理の間の抜けた感じと対照的でより成瀬が優秀に見えてくること間違いなしです。成瀬の愛理に対しての微かな優しさがより伝わる場面でした。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。16巻	成瀬の言動は本当に優しさに溢れています。愛理のために作戦会議として、いろいろなアドバイスをしてくれている姿に彼の性格の良さが滲み出ていますね。愛理もそのことを内心自覚していて成瀬に対してなんとなく心惹かれている感じが見て取れるのでその点も面白いところです。早く愛理が夫と別れて成瀬といい感じになってくれることを強く願いたいです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。16巻	これが実はハニトラだということに全く気づかずに行動してしまっていた愛理の姿がなんだかとても可愛らしく見えました。凄く純粋で愛理らしいです。その後、成瀬に指摘されてようやく気がついた感じで愛理のちょっと危なっかしい性格を物語っていましたね。前園という人物が愛理を罠に嵌めようとしていることを成瀬が教えてくれた場面は成瀬の愛理に対しての直向きな愛情がかなり滲み出ていましたね。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。17巻	これは成瀬のファインプレー。成瀬が一緒に行かなかったら、恐らく前園の思惑通りになっていたでしょう。それどころか何故愛理についてきたかの事情を話し、釘まで刺します。成瀬の言葉に、顔を引きつらせる前園の姿が最高でした。気がかりなのは愛理です。今回は成瀬の助けがあったから、どうにかなりました。しかし、あまりにも不用心。一度痛い目を見た方がいいんじゃないでしょうか。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。18巻	成瀬の活躍っぷりが見事でした。というか、成瀬は前園と瑛太の写真を持っていたわけですし、すべてを掌握していた感がすごいですね。写真だけだと言い逃れされる可能性もありますが、ここまでの証拠を掴めば否認はできないでしょう。まるで名探偵のような成瀬がとてもかっこよかったです。気になるのは成瀬の反撃です。瑛太はハニートラップまで使ってきました。かなり悪質で、離婚協議において不利に働くことは間違いありません。瑛太が請求される慰謝料の総額がどれくらいになるのか、楽しみです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。19巻	成瀬がついてきてくれて、本当に良かったですね。愛理一人だけだったら、まんまとハニートラップに引っかかっていたでしょうから。今回のことは愛理にとってショックだったでしょうけど、成瀬との距離を縮められたのは不幸中の幸いでした。今回のハニートラップに対してどのように対処するのかが気になります。成瀬のことだから、瑛太が言い逃れできないような物証を集めてくるでしょう。それを利用して、慰謝料をどれだけ増額するのか楽しみです。
成瀬社長は面倒見が良すぎる。20巻	涼子って、週一会うぐらいなら良い相手だとは思います。しかし、結婚して一緒に生活するとなると、少し難しいのではないでしょうか。実際、瑛太もそれを感じ始めていて、二人の関係がこれからどうなっていくのか楽しみです。気になったのは涼子の行動です。探偵の報告書を見たときの彼女の表情が普通ではありませんでした。この写真を見て、彼女がどんな行動を取るのか注目したいと思います。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』21巻	ここに来て、作品タイトルの意味がなんとなく理解できた気がしました。好意を抱いている人が困っていたら、助けてあげたくなるものだと思います。成瀬は愛理の面倒を見てきましたけど、そういう理由があるのかなと思っていました。しかし、同僚たちをみて、単純に成瀬の面倒見が良すぎるだけなんだって痛感しました。愛理もワケありでしたけど、同僚たちはそれ以上。むしろ、愛理が一番まともに感じられるほどです。面倒見が良すぎると言われるだけのことはあると納得してしまいました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』22巻	瑛太は女性を見る目が全くないんだなと呆れてしまいました。自分は一生懸命仕事をしているのに、相手は遊び感覚で配信しているのです。瑛太が憤りを感じる気持ちは理解できます。しかし、そんな涼子を選んだのは他でもない瑛太自身。恨むなら自分を恨むべきだと思いました。そういっ

	た経緯から、瑛太と涼子の今後が気になりました。涼子は愛理とは違い、気の強い女性です。もし瑛太から文句を言われたら、涼子は言い返すでしょう。そうなった時、瑛太がどのような反応を示すのか注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』23巻	涼子があっさり別れを受け入れたことに驚きました。今では瑛太と一緒に暮らしていますが、涼子が今の環境を簡単に手に入れたわけではありません。瑛太は既婚者でしたし、専業主婦を望む女性と結婚しようとする男性も少ない時代です。苦労した分だけ瑛太を手放したくないのではと思っていただけに、この反応は意外でした。別れに応じにゴネたり、応じたとしても慰謝料的なものを請求するのではと思っただけに。瑛太に関しては、自業自得だと思います。今回が初ならともかく、仕事を辞めたのもこれが原因だったわけですから。過去の失敗から何も学んでいないのだなと呆れました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』24巻	成瀬の面倒見の良さには驚かされました。愛理だけでなく、小沢や木下もかなりお世話になっていたんですね。改めて、素敵な人と出会えたのだと感じました。愛理と瑛太の話し合いが気になります。わざわざ会って話をしたいと言うくらいですから、何かあるだろうと思っていました。しかしまさか、復縁を考えていたとは想定外。愛理がどのような返事をするのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』25巻	今回の離婚は瑛太にとって、良い経験になったなって思います。自分の過ちに気づき、そして反省することが出来ました。復縁こそ出来なかったものの、この経験は次の恋愛や結婚に活きてくるのではないでしょうか。愛理とは残念な結果に終わりましたが、前を向いて歩んで行って欲しいですね。愛理のことを心配してくれる人たちにホッコリしました。特に印象的だったのは、成瀬から送られてきたスタンプです。心配そうに見守るイラストが成瀬のイメージにピッタリ過ぎて、笑ってしまいました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』26巻	今回、財産分与の金額に強い違和感を覚えました。確かに瑛太は探偵やハニトラ等で散財しましたけど、それは愛理と別居した後です。しかし、別居後の散財はカウントされませんから、関係ありません。逆に言うと、これが通じてしまうなら、離婚する相手にお金を渡したくないと思って散財する人が後を絶たなくなってしまうでしょう。今回のケースで言うと別居時の共有財産を元に財産分与は行われるものなので、振り込まれた16万円は適正ではありません。相変わらず愛理は騙されやすいんだなって感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』27巻	愛理らしくて笑ってしまいました。愛理には悪いですけど、やはり愛理はこうでないと。ドジっ娘ぶりが可愛くて、微笑ましいです。気になったのは、愛理も一泊すると言い出したことです。そもそも成瀬が広島で一泊するハメになったのは、愛理がやらかしたから。そのことを全く理解していなさそうなんですよね。社会人として大丈夫なのかと愛理が心配になりました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』28巻	愛理って残念な人だなって感じました。自分のミスで成瀬に迷惑掛けているということを、全く理解していないのではないでしょうか。そうでなければ、あれほどしつこく食い下がることはできないと思います。宿泊費についても同様です。本当に反省しているなら、成瀬から経費で落とすと言われても断っていたでしょう。せめて、ありがとうございますと即答するのではなく、一～二回は断りをいれるべきだったのではないかと思いました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』29巻	愛理の能天気さが微笑ましく感じました。普通に考えれば、愛理の方が警戒しなければいけないシチュエーションなんです。にもかかわらず、愛理は全くそういうことを考慮せずに成瀬を誘いました。この何も考えていないところが愛理らしくていいですね。一方、罰ゲームが気になりました。具体的にどんな罰を受けることになるのか決めていません。成瀬が愛理に一体何をさせるのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』30巻	罰ゲームの内容が素敵でした。てっきり愛理を困らせるようなものかと思ったら、むしろその真逆。愛理のためを思ってのことだったのですから。成瀬が愛理に、放っておけないからと伝えた言葉の影響が気になります。おそらく成瀬には恋愛感情はないと思われますが、愛理の気持ちはどうでしょうか。離婚問題や仕事のミスで落ち込んでいる時に、こんな優しい言葉をかけられたら、胸がときめいても不思議ではありません。この言葉が愛理にどのような影響を与えるのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎ	木下は悲し過ぎますね。愛する男性のために無理しているという事自体は気にしません。困っている時はお互い様だと思いますし、木下も納得した上でのことなのですから。しかし、渡したお金

る。』31巻	の使われ方が酷すぎました。早く木下の目が覚めてくれることを祈るばかりです。成瀬が騎士の前に姿を現したことが気になりました。このタイミングで現れたのですから、成瀬が木下たちの会話を聞いていたことはほぼ間違いないでしょう。成瀬がどのような面倒見の良さをみせてくれるのか楽しみです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』32巻	騎士にはイライラしました。成瀬の言い分は筋が通っていますし、自重しなければいけないのは騎士の方です。にもかかわらず、反省している様子は全く見受けられません。その様子を見ていると、木下はなぜこのような人物に惹かれているのだろうかと感じてしまいました。一方で、騎士の動きが気になります。木下が成瀬と愛理の関係に触れたことで、何やら良からぬことを企んでいるようにも見えました。一体何をしようとしているのでしょうか。今後の展開に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』33巻	木下の話がとても面白く感じられました。というのも、その内容には確かに一理あるんですよね。成瀬はこれまで愛理の面倒を見てきましたが、普通であればそこまで踏み込むことはなかなかありません。そう考えると、二人の関係を特別なものではないかと勘ぐってしまう気持ちも理解できます。その話を聞いたときの愛理の反応が微笑ましく、全体として楽しめるやり取りだったと感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』34巻	木下が想像以上に行動派で驚きました。成瀬を呼ぶにしても、まさか愛理に無断で呼んでいたとは。その後も二人きりにしようと動くなど、恋愛が絡んだときの木下は凄いですね。一方、どんな罰ゲームが行われるのか気になりました。ここまで場が盛り上がってしまえば、トランプで遊ぶ流れはほぼ確定でしょう。となると、どんな罰ゲームが飛び出すのでしょうか。成瀬と愛理をくっつけようとする木下がどのような提案をするのか注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』35巻	ホス狂いは伊達じゃないと感じさせる、木下の見事な立ち回りでした。これまで愛理は、成瀬と二人きりになっても恋愛的な感情を抱くことはありませんでした。それにもかかわらず、木下の働きかけによって、その気持ちに変化が生まれます。恋愛の機微を熟知した、いわば恋愛マスターのような存在だと感じさせられました。一方で、騎士の動きも気になるところです。愛理に対して何を仕掛けようとしているのか、今後の展開に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』36巻	愛理の対応は、かなり印象的でした。木下にお世話になっている立場上、その恋人である騎士からの誘いを断るのは簡単ではなかったはずです。しかも周囲に人がいない状況でしたから、プレッシャーもあったでしょう。それでも流されることなく、きっぱりと拒否した姿からは、愛理の芯の強さがしっかりと伝わってきました。彼女の成長や自立が感じられる、良いシーンだったと思います。一方で、騎士の今後も気になるところです。成瀬の面倒見の良さを踏まえると、このまま騎士を放置するとは考えにくいでしょう。むしろ今回のやり取りをきっかけに、何らかの形で関わりを持ち続ける可能性は十分にありそうです。成瀬が騎士にどのような影響を与えることになったのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』37巻	こんな展開になる気がしていました。騎士があまりにも放っておけない雰囲気だっただけに、成瀬の面倒見の良さが発動してしまうのではないか。そんな予感が、そのまま的中したように感じます。ただ、実際に話してみると、騎士は思った以上に人柄の良さも見えました。案外ホストよりも昼の仕事のほうが向いているのかもしれませんね。一方で、気になるのは成瀬と愛理の状況です。今はまだ内装が完成したばかりの段階であり、こうした不測の事態に対応できる設備が十分に整っているとは考えにくいでしょう。しばらくは真っ暗な空間で過ごすことになりそうですし、助けが来るまで二人がどのようにこの状況を乗り切るのか、今後の展開に注目したいところです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』38巻	これは非常に切迫した状況であるといえます。空腹であればある程度は我慢することも可能ですが、トイレとなると長時間耐え続けるのは難しいものです。すでに限界に近い状態であることを考えると、あと30分ほど持ちこたえられればよい方ではないでしょうか。このままでは、成瀬の前で粗相をしてしまうことになりかねません。この危機的な状況をどのように乗り越えるのか、今後の展開に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』39巻	愛理が無事に助かったことに、ひとまず安心しました。もしあの状況で限界を迎えてしまっていたら、愛理にとって非常に大きな精神的ダメージとなっていたことでしょう。というのも、恥ずかしさだけではありません。密室という環境上、その場の状況から逃れることもできず、助けが来るまでニオイに長時間耐え続けなければなりません。そう考えると、間に合ったことは本当に幸運だったと感じます。一方、黒川の存在が気になりました。単に黒川が親しげに接しているだけであればまだ

	理解できますが、成瀬の反応にもどこか特別なものを感じます。まるで、恋人を見るかのような柔らかな視線を向けていたようにも見えたとでもいいましょうか。果たして黒川と成瀬がどのような間柄なのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』40巻	黒川の有能さには驚かされました。英語が堪能だというだけでも十分すごいのですが、それ以上に印象的だったのは、成瀬と対等な目線で自然に会話していたことです。これまでの描写からは、成瀬が会社を引っ張っていく中心人物という印象が強かっただけに、同じレベル感で意見を交わせる存在がいたことに驚かされました。単なる優秀な後輩というだけではなく、成瀬にとって相棒と呼べるような仕事仲間なんでしょうね。 一方で、気になるのは愛理の今後です。黒川に憧れを抱く気持ちはよく理解できます。しかし、その憧れが強すぎるあまり、無理に背伸びをしてしまわないか少し心配にもなりました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』41巻	黒川の強い意気込みは十分に理解できました。だからこそ、これまでの成瀬との方針の違いに、不安を覚えます。特に気になったのが、小沢と木下の存在でした。この二人は、成瀬がつい面倒を見てしまうほど、どこか抜けたところのある社員です。そんな彼らが、黒川の厳しい要求や高い基準についていけるのか。今後うまく適応できるのだろうかと心配になりました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』42巻	まさに、黒川らしい展開でした。黒川は自分自身に厳しいだけでなく、周囲にも同じレベルの意識や努力を求めるタイプに見えます。だからこそ、これまで比較的穏やかな空気だった職場で摩擦が生まれるのは、ある意味当然と言えるでしょう。理屈としては正しいことを言っていても、それを受け入れられるかどうかはまた別問題ですし、周囲をまとめていくのはかなり苦労しそうです。特に、小沢と木下はかなり大変そうに感じました。愛理の前向きな言葉を聞いても、二人にはほとんど響いていないように見えましたし、不満や反発心の方が強い印象でした。この対立が今後どのように変化していくのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』43巻	何気に、今回の愛理はファインプレーだったと思います。木下は愛理の言葉に納得できず、続けて黒川への不満や批判を口にしていました。これに小沢も同調していたため、普通なら愛理もその場の空気に流されてしまっても不思議ではなかったでしょう。もし愛理まで同調していたら、その場は三人で黒川の陰口を言い合うような展開になっていたかもしれません。そうなれば、黒川の精神的な負担は、さらに大きなものになっていたと思います。しかし、愛理は木下たちの意見に安易に流されませんでした。そんな愛理だからこそ、慰めの言葉も黒川の心に響いたんだと思います。先輩二人の意見に流されることなく、自分の考えをしっかり伝えた愛理の姿はとても立派で、思わず褒めてあげたくなりました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』44巻	愛理がどのような行動を起こすのか、非常に気になりました。成瀬から直接感謝の言葉を伝えられたのですから、愛理の心に響かないはずがありません。しかも、リヴァローレへ来てくれてありがとうとまで言われたのです。愛理にとってはこれ以上ない励ましになったことでしょう。実際、その言葉を受けた愛理はすぐにやる気を取り戻し、木下たちとも向き合おうとしていました。しかし、愛理が良かれと思って発した言葉が木下たちの反感を買い、かえって関係をこじらせてしまう可能性もあります。愛理がやらかしてしまいそうで、心配になりました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』45巻	小沢の変化が気になりました。木下は依然として怒りを抱えたままですが、小沢は少し違うように感じます。もちろん黒川に対して思うところはあるのでしょう。しかし、以前のような強い反発心は薄れつつあり、わだかまりもかなり小さくなっているのではないでしょうか。表面上は木下に賛同していたものの、その場の空気を読んで合わせただけのように感じられます。もしそうだとすれば、愛理の説得も決して無駄ではなかったといえるでしょう。すぐに考えを変えさせることはできなかったとしても、小沢の心にはしっかり届いていたように感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』46巻	小沢もまた、なかなか辛い立場に置かれているのだと感じました。小沢はすでに黒川の仕事ぶりを認めています。しかし、だからといって今までの態度をなかったことにして、急に意見を翻すわけにはいきません。木下の怒りが収まらない限り、小沢も自由に本音を口にしづらいでしょうし、もうしばらくは難しい立場が続きそうですね。一方で、木下のクレーム処理が気になりました。今回の相手は単なる不満を抱えているというよりも、どこか悪意を持っているようにも感じられます。通常の対応だけでは解決できない可能性が高そうなだけに、どのような対応を見せるのか注目したいです。

『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』47巻	黒川の仕事ぶりは見事の一言でした。木下がクレーム対応に苦戦していると見るや、すぐに駆け付け、あっという間にその場を収めてしまったのですから。その対応力には感心させられます。また、お客様の顔を立てつつ、次はないという線引きをしっかり示したことも良かったですね。今後同じような要求は受け入れられないと明確に伝えたことで、今回のような無理な返品対応を繰り返される可能性は低くなったでしょうから。一方で、今回の出来事が木下にどのような影響を与えるのかも気になりました。黒川は木下がピンチの時に颯爽と現れて助けてくれたのです。普通に考えれば、感謝の気持ちが芽生えても不思議ではありません。今回の一件は二人の関係が良い方向へ進む転機となるのか、今後の展開に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』48巻	木下がきちんと謝ることができて、本当に良かったと思います。今では木下自身も、黒川の対応は決して間違っていなかったことに気づいています。しかし、以前に陰口を黒川本人に聞かれてしまったという経緯があったため、謝りたい気持ちはあっても、なかなか素直に行動へ移せずにいました。このままでは二人の関係が修復できないまま、わだかまりだけが残ってしまう可能性もあったでしょう。だからこそ、木下が勇気を出して謝罪したことは本当に良かったと感じます。一方で、愛理の仕事ぶりには驚かされました。プライベートで楽しむための動画とは違い、会社の公式アカウントで公開する動画には、それ相応のクオリティーが求められます。成瀬に認められるぐらいなのですから、愛理が制作した動画の完成度はかなり高かったのでしょう。普段はおっちょこちょいな一面が目立つ愛理ですが、こうしたクリエイティブな分野ではしっかりと実力を発揮できるのだと分かり、思わず感心してしまいました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』49巻	流石は木下といったところでしょうか。以前から、成瀬と黒川の関係はどうなのだろうと気になっていただけに、この話題を切り出してくれた木下には、よくぞ聞いてくれたと思わず拍手を送りたくなりました。一方で、黒川の動向が気になります。お酒の席の場での発言とはいえ、黒川が成瀬に好意を持っていることは間違いないでしょう。となれば、黒川にとって愛理はライバルともいえる存在です。黒川がこのまま何も行動を起こさないとは考えづらいわけで、これから成瀬にどのようなアプローチを見せるのか、今後の展開に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』50巻	物語が面白い方向に進んできたように感じます。これまで愛理は成瀬を恋愛対象として見ていませんでしたが、木下の発言によって明らかに心境が変わりました。もし何も感じていなければ、自分は成瀬に対して特別な感情はなく、恋のライバルでもないと言っていたはずですから。木下の言葉がきっかけで、成瀬と愛理の関係に変化が訪れそうで楽しみです。一方、黒川がどのように動くのか気になりました。黒川は成瀬と長い付き合いがありますが、あくまで友人関係に過ぎません。このままだと、成瀬といくら一緒に居続けたとしても、恋愛には発展しそうもありません。この状況をどのように打開するのか、黒川の動向に注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』51巻	流石は成瀬だと感心し、そして笑ってしまいました。もちろん成瀬の気配りは凄いことだと思ったのですが、ここまでとなると、なるでエスパーのようです。よくここまでの事態を想定して準備していたものだと、笑いがこみ上げてきました。本当に、成瀬の気配りは凄すぎますね。一方で、成瀬がどんな服装を愛理の為に用意したのか気になりました。どのような服装が愛理に似合うと判断したのか、注目したいです。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』52巻	成瀬の気配りの細やかさには驚かされました。愛理のサイズに合わせたドレスを用意していただけでも十分すごいのですが、成瀬の気配りはそれだけでは終わりません。靴を用意するにしても、パーティー直前にサイズを確認していたのであれば、ぴったりのものを準備できるのも納得できます。しかし成瀬は、以前の何気ない雑談で、サイズを知っただけです。普通は他人の足のサイズなんて気にも留めませんし、覚えていないのが普通でしょう。それなのに、成瀬は愛理のサイズをしっかり覚えており、ピッタリサイズを用意してきたことには驚きました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』53巻	今回は成瀬に驚きました。もちろん、名刺交換をやり遂げた愛理の働きには目を見張るものがあります。でも、そのように導いたのは成瀬なんですよね。成瀬自ら、名刺交換の練習に付き合いました。また、最初は愛理一人で名刺交換をさせるのではなく、成瀬がそばでサポートをしています。段階を踏んで愛理のサポートをしてあげたからこその結果と言えるのではないでしょうか。ただ世話を焼くだけでなく、成長するように導く。なかなかできることではありませんし、流石成瀬だなって感心しました。

『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』54巻	さすが成瀬だなと感心しました。他人の靴擦れにまで注意を向け、さらに足をこれ以上傷めないようにフォローするなんて普通ありえませんから。よくそこまで気が付くものだと驚かされました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』55巻	愛理が少し動揺しすぎではないかと感じました。人間、誰でも隠し事の一つや二つは持っているものです。もちろん成瀬が隠し事をしていたとしても、仕方のないことでしょう。現時点では成瀬から何かされたというわけでもないのに、反応が少し大げさなように感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』56巻	事情を知って一安心しました。前園は愛理にハニートラップを仕掛けてきた相手です。それだけに、最悪の展開が待っているのではないかと予感していました。しかし、実際は愛理のためを思って行動していただけだったんですよね。成瀬らしい行動だったんだとわかって、ホッとしました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』57巻	前園の行動に驚かされました。まあ、謝罪する気持ちはわかります。仕事とはいえ、愛理にも酷いことをしていたのですから。しかし、まさか同僚になりたいと言い出すとは思ってもみませんでした。しかも、あの話し方からすると、ただ力になりたいというだけではなさそうです。あの一件をきっかけに、前園が愛理に好意を抱くようになった可能性は高いのではないでしょうか。前園がリヴァローレで働けることになったら、これはこれで面白い展開になりそうだなって感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』58巻	愛理の反応が意外でした。あれだけ人の良い愛理ですから、ここまで謝られたら許してしまうだろうと思っていたんですよね。むしろ、ここまで好意を伝えられたら、前園に好意を抱いてしまうかもとさえ感じていました。それだけに、ここまで前園を拒絶するとは思っておらず驚きました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』59巻	愛理と小沢にとっては苦しい展開になったように感じました。ここまで外国人客が多いとなれば、英語を話せないというのは致命的ですね。残念ながら小沢と愛理は戦力外という他ないでしょう。今から勉強したからといって急に英語を話せるようにはならないでしょうし、先行きに不安を感じさせる展開でした。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』60巻	成瀬の判断が微妙に感じます。そこまでして愛理たちを銀座店で働かせる必要があるのか、という気がしました。もちろん愛理たちが銀座店で働きたいと希望して応募していたならば、成瀬が庇う気持ちもわかります。しかし、実際はそうではありません。愛理たちにはこれまでの業務に戻ってもらい、銀座店は銀座店で新たにスタッフを雇用すればいいだけの話ではないでしょうか。適材適所という言葉があるように、それぞれの実力や適性に合った場所で働いてもらうようにすればいいんです。成瀬はちょっと意固地になっているのではと感じました。
『成瀬社長は面倒見が良すぎる。』61巻	小沢の行動が気になります。小沢は残業せずに退社したわけですけど、それには何か意味があったのではないでしょうか。例えば自分の戦力不足を痛感し、英会話教室へ通うことにしたとか。流石に今日のような状況だと、小沢も感じるものがあったと思うんですよね。小沢なりに何か考えがあっての行動だったのではないかと思うだけに、今後の動向に注目したいです。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス